新千歳空港・札幌からニセコへのアクセス向上へ

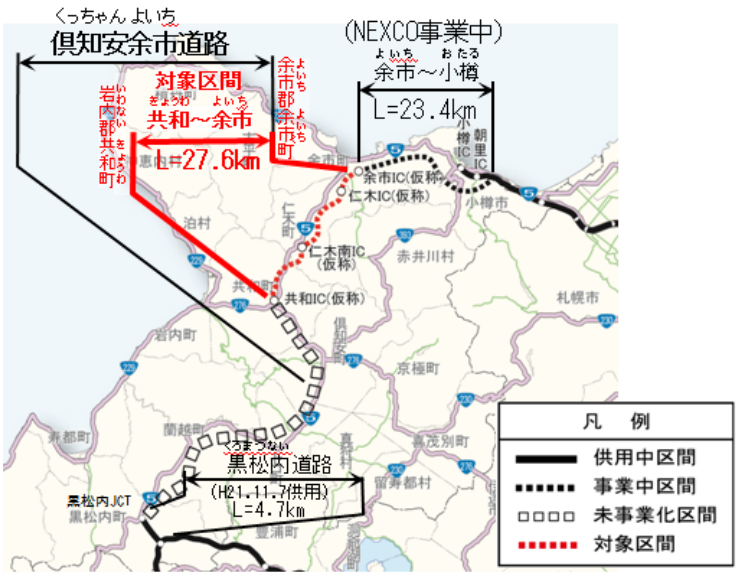
一般国道５号　倶知安余市道路（共和～余市）の整備

北海道開発局の取り組み

北海道開発局では、空港・港湾等の交通拠点と北海道を訪れる観光客に人気の高い主要な観光地を連絡する広域交通ネットワークの整備を推進しています。

一般国道５号　倶知安余市道路（共和～余市）が新規事業化になりました！

一般国道５号　倶知安余市道路（共和～余市）は、余市市街地等における交通混雑の緩和及び交通事故の低減による安全性の向上、拠点空港



新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性の向上により、観光振興による地域の活性化支援及び有珠山噴火等の災害時の代替路として寄与することを目的とした延長２７・６kmの一般国道のバイパス事業です。

ニセコエリアがより身近に！

高速ネットワークの整備により、新千歳空港・札幌～ニセコエリアの所要時間が冬期間においては約３５分短縮します。国際的な観光地であるニセコエリアが、より身近になることにより、観光振興による地域の活性化が期待されます。

物流の効率化、代替機能の向上が図られます！

国道５号　稲穂峠付近は、冬期間、スリップ等により通行車両が動けなくなってしまう「スタック」の発生回数が、年平均２０回以上を超え、道内最多となっています。また、国際コンテナ等の大型車の通行に支障となるトンネルがある等、道路交通上の課題が存在しています。

高速ネットワークの整備により、物流の効率化及び代替機能の向上が図られ、函館方面と小樽港など道央圏との交流を支援します。

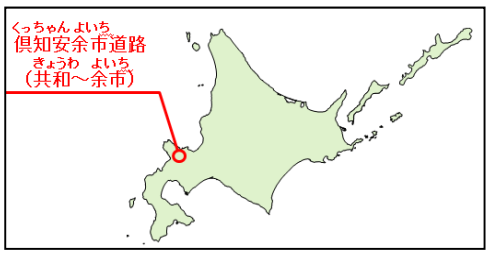
国際コンテナ通行支障区間
（稲穂トンネル）

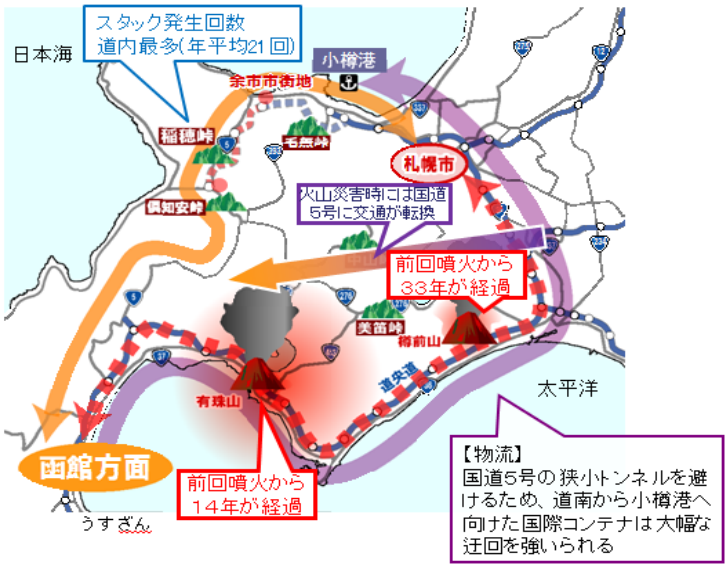
スタックの状況（稲穂峠）

災害時の代替ルートとして寄与します！

後志・胆振地域は約３０年で噴火を繰り返す有珠山や樽前山が存在します。このため、国道５号は、太平洋側ルートの代替路として、災害・緊急時に重要な役割を担う路線です。

高速ネットワークの整備により、災害リスク等に備えた代替ルートが確保され、有事の際の迅速な救援・避難に貢献します。





有珠山噴火災害による交通の転換と国際コンテナ輸送ルート